

11 月記者懇談会

平成 27 年 11 月 20 日
午前 11 時 203 会議室

出席者：信濃毎日新聞、中日新聞、長野日報、みのわ新聞、伊那ケーブルテレビ
事務局：三井みのわの魅力発信室長、藤澤係長、鈴木係長、有賀秘書

行事予定（担当課PR分）

12/19 3館ふゆまつり【説明者：公民館 唐澤主事】

小学校低学年を主に対象とした行事。

昨年 200 人参加。

手作りの遊びを体験してもらいたい。

学校支援ボランティアわくわく飯島町によるサイエンスショーなど。



1/9 青年のための やさしい家庭料理

12/10 申込締切り。全 6 回、材料費別途。

移住パンフレット【みのわの魅力発信室：井ロードバイザー】

移住者向けパンフレットを作成した。

今後、移住相談会等で配布。



広報から

・広報みのわ 12 月号記事紹介

質疑応答

質) 3館ふゆまつりの3館とは。事前申込必要か。

答) 公民館、博物館、図書館。事前申込は不要。

質) 料理教室の参加費は全6回分か。講師はだれか。

答) 全6回で500円。ただし、別途材料費が必要。講師は食改メンバー。

質) 移住の今後の取り組みは？

答) 空き家バンク動き出した。12月から空き家悉皆調査開始する。

そのほか相談会参加、移住体験ツアーを予定。Uターン向け施策も検討していく。

基本施策集 30 の実施状況 マニフェスト評価



12月議会、H28年度予算にむけた事務事業評価の時期。事業のスクラップ&ビルドができていない。施策のストック少ない捻り出しを。

情報は生のまま出している。保育園整備の手法も町からではなく、合意選択の手法をとった。

平成27年度中にやらなければならないことは多いが、全てはできない。今年度は、60周年事業に力、人、予算をかけた。プランニングの年だったので、進んでいない部分もある。

基本政策の進捗状況は、6割が実施でき全体として順調にスタートできた。全体として産業振興が今一步。事業はやっているが新たな政策の打ち出しが難しい。

町民との距離は縮まりつつある。発信力の強化は体制がなかなかできない。組織力は高まってきたが、ブランド化がおいついていない。来年の一番の課題。

◎全体を振り返って

仕事そのものは違和感ない。責任の重さを感じる。

◎特に力を入れた分野は

外との関わりに力を入れた。外に出て知ってもらいたいという思いでやってきた。町民にも知ってもらおう、地域に出向いてきた。精神的距離感は縮まった。

◎来年は

一番は子育て。単に人口減少を止めるだけではなく、いろんな活力の源泉。そのベースになる産業づくりを行いたい。

◎軌道修正は

県全体で言えることだが、教育施策は多いが成果がわからない。移住定住で教育の質を問われる。最後の勝ち組になるのは教育と福祉、安全安心だと思う。より重点化をしていかなければならない。

次回 12月24日(木) 午後1時から 203会議室